

広報チームが行く！



事故防止対策委員会 & 体験型河川堤防等実習施設の巻



Vol. 13(2021/07/29)



国土交通省 東北地方整備局
鳴瀬川総合開発工事事務所

広報チームは、鳴瀬川総合開発事業及び関連する地域の情報を様々なメディアを活用し「親しみやすく」「わかりやすく」広報することを目的に令和2年6月に鳴瀬川総合開発工事事務所の職員で結成したチームです。



令和3年7月12日、古川商工会議所において



「鳴瀬川総合開発工事事務所事故防止対策委員会総会」を開催しました！

事故防止対策委員会とは、鳴瀬川総合開発工事事務所所管事業の**工事、業務**など実施にあたり、**事故発生**を未然に**防止**し、**人的・物的損失を防ぎ**、工事などの**円滑な進捗を図る**ことを目的として組織しています。

当日は委員会を組織する当事務所職員や工事請負業者など25名が出席し、事業計画などを決めました。



挨拶する二瓶鳴瀬川総合開発工事事務所長

中松労働基準監督官による安全講話



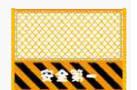
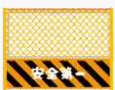
今回の委員会では、事務局から昨年度の事業経過報告及び今年度の事業計画(案)の説明があり、会員に承認されました。

その後、古川労働基準監督署の中松労働基準監督官より、**労働災害**や**熱中症対策**、**新型コロナ対策**についてのお話を伺いました。

幹事からは、東北地方整備局管内の事故発生状況、令和3年度鳴瀬川総合開発工事事務所事故防止目標の説明を行うとともに、熱中症対策や新型コロナ対策についての留意事項の説明が行われました。

今回の事故防止対策委員会を通して、今年一年安全な業務の施工に努めることを発注者・受注者共に確認しました。

議事の様子



東北初!!

『体験型河川堤防等実習施設』に行ってきました

in東北技術事務所（宮城県多賀城市）

何のために作られた施設なの??

河川管理施設の変状や損傷は、危険と判断され早急に修繕されるので、河川管理者でも実際の変状の状況を直接現場で確認する機会は非常に少ないというのが実態です。

そこで、河川管理者が河川堤防等に再現された変状の状態を見て体験出来る施設を整備することとしました。そして作られたのが、この体験型河川堤防等実習施設なのです！



実物大!!

今回体験した堤防

亀裂や陥没等の不具合を再現した施設を作って、
人材育成・技術力向上をするなんてすごいだあご〜！



どんな不具合があるか探索中



打音調査を体験



刺すぞ〜…！

自分で周りを見ながら亀裂などの損傷が無いか見て回り、目視しただけでは分からない部分は、ハンマーでコンクリートを叩き、音が違う場所がないか調べました。また、金属の長い棒を使って地面に刺し、土の柔らかさを調べました。雨が降った後のせいか、思ったより深くまで棒は刺さりました☔



堤防の管理って大変そうだけど、土じゃなくて全部コンクリートで作らないのは何でだろう…？見栄えも良いし丈夫そうなのに…

確かに、頑丈なコンクリートの方がメリットは沢山あるんだけど、土にもメリットが沢山あるんだ。土は採取が容易で何年経っても劣化しにくいし、かさ上げや拡幅、修繕もしやすいから土で作っている堤防が多いんだよ！



今回、施設を紹介して下さった千葉専門官と中正係長が、全く知識のない取材班に丁寧に分かりやすく説明して下さいました！堤防の重要性や河川の大切さ等、素人ながらに感じる事ができました、お二人とも有り難うございました！

今回体験させて頂いた河川堤防等実習施設ですが、なんと！！**一般にも無料で解放されているのでどなたでも体験できちゃうんです！**😊少しでも興味を持たれた方はぜひ、利用してみたいかがでしょうか？♪詳しくは、東北技術事務所のホームページをご覧ください(^o^)！！

【 東北技術事務所ホームページ … <http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/> 】

twitter

Youtube

今回は、事故防止対策委員会&体験型河川堤防等実習施設の一部を紹介しました。広報チームは、これからもいろんな事を発信し、事務所ホームページ、twitter等で広報していきます☆

